

## ～ 地域と大学で考える超高齢社会 ～

令和6年

6/2 SUN

時間 13:30-16:35 (13:00受付開始)

場所 TKP大宮駅西口カンファレンスセンター  
6階 ホール6A

定員 70名

入場無料  
要申込

さいたま地域は、現状人口流入が続いているものの、2040年ころには団塊ジュニア世代が高齢期に入り、市民の約3割を65歳以上が占めると推計されています。「人生100年時代」の到来が予想される中、我々が高齢期に入っても生き生きと暮らし続け、第一線でなくとも地域社会の一員として活躍し続けるために、地域社会全体で今から議論すべき課題とは何でしょうか。

本シンポジウムでは主にこれから高齢期に入る世代のQOL(生活の質)の維持に焦点を当てながら、地域の強み・大学の強みを生かしつつ、超高齢社会にあっても発展を続けるさいたまの未来社会をいかに創造するか、2040年ころの在りたい地域の社会像をみなさまと共に考えます。



## 第一部

- 13:30 開会挨拶  
-13:35 坂井貴文 (埼玉大学 学長)
- 13:35 開会挨拶 (ビデオメッセージ)  
-13:40 清水勇人 (さいたま市長)
- 13:40 基調講演 1  
-14:15 『高齢者外出支援実証実験：ゲームは高齢男性を外に連れ出せるか?』  
千本松孝明 (埼玉医科大学 医学部 リサーチ  
アドミニストレーションセンター 教授)
- 14:15 基調講演 2  
-14:50 『ミドルシニアの働き方の現状と課題』  
小島明子 (株)日本総合研究所 創発戦略センター  
スペシャリスト)

## 第二部

- 15:00 パネルディスカッション  
-16:30 千本松孝明 (埼玉医科大学 医学部 リサーチアドミニストレーションセンター 教授)  
濱口豊太 (埼玉県立大学 研究開発センター センター長)  
松尾真二 (さいたま市 福祉局長寿応援いきいき長寿推進課 係長)  
小島明子 (株)日本総合研究所 創発戦略センター  
スペシャリスト)  
佐々木哲也 (公財)さいたま市産業創造財団 事務局長)  
平松 薫 (埼玉大学 大学院理工学研究科 教授/社会変革研究センター地域共創研究部門長)
- 16:30 閉会挨拶  
-16:35 石井昭彦 (埼玉大学 理事(研究・産学官連携担当)・副学長)

共催 埼玉大学 さいたま市

申込URL <https://forms.gle/6DqVmuyJDJwaxEJ68>問合せ 埼玉大学 社会変革研究センター 地域共創研究部門  
Mail : rao@gr.saitama-u.ac.jp Tel : 048-858-3761